

三都研究会例会（円座）

# 「近世大坂における神社と都市社会」

1980年代以降、日本近世の都市史研究は、巨大都市・三都（大坂・江戸・京都）の研究に主導されながら大きな発展を遂げ、複合的な都市社会構造（分節構造）が多様な側面から解明されてきた。その中で大規模な寺社をめぐる社会構造の研究は重要な一環をなしている。

大坂では、新出史料も利用しながら、大坂天満宮や生玉社などの神社をめぐる社会構造の解明が進められている。その成果を共有しながら、大坂の都市社会史の更なる発展を目指して、議論を深めていきたい。

日時： **2016年7月17日（日）**     **13:00～17:00**

会場：大阪市立大学杉本キャンパス経済学部棟2階第4会議室

報告： **木浦美里**（大阪市立大学卒業生）

「大坂天満宮をめぐる社会的諸関係－六月祭礼を中心に－」

**山下聡一**（都市文化研究センター研究員）

「生玉神社の社家仲間と家」

コメント： **ヤニック・バルディ**

（フランス国立東洋言語文化研究所TA/RA）

主催：三都研究会・近世大坂研究会

都市文化研究センター・都市研究プラザ都市論ユニット

※本研究会は「三都の巨大都市化と社会構造の複合化に関する基盤的研究」  
（科学研究費補助金・基盤研究（B）16H03478）によるものです。